

第 1 章 T T (淡山疏水・東播用水) 未来遺産運動

1 運動の始まり

淡山疏水は、明治・大正期にかけて先人たちにより苦勞して開削され、昭和の大改修事業など幾多の改修改築を重ねつつ日々用水を送り続け、地域の農業の発展や水辺環境の向上などに多大な貢献をしてきました。このような疏水を誇りとする淡山土地改良区組合員は、東播用水土地改良区との合併後も疏水の水が送り続けられ、疏水の歴史が後世に語り伝えられることを強く願っていました。

この気持ちをくみ取った淡山・東播用水土地改良区合併推進協議会は、兵庫県北播磨県民局加古川流域土地改良事務所の協力を得て、平成 24 (2012) 年 2 月、疏水の幅広い活用や疏水的设计図書などの保管について検討を開始し、平成 25 (2013) 年 4 月、淡山疏水の歴史を活かして東播用水の持続的発展をめざす T T 未来遺産運動の展開とその一環として設計図書などの保存活用を提案しました。

淡山土地改良区及び東播用水土地改良区はこの提案に賛同し、T T 未来遺産運動計画検討委員会(以下「委員会」という。)を直に設置し、委員会の助言を得て運動計画を策定し、T T 未来遺産運動フォーラムの開催など運動開始に向けたイベントを行いました。平成 28 (2016) 年 4 月の土地改良区合併以後は、東播用水土地改良区が本格的に運動を展開しました。

なお、この運動の名称は「淡山疏水・東播用水未来遺産運動」ですが、淡山疏水と東播用水各々のローマ字頭文字をとった「T T 未来遺産運動」と呼ばれるようになりました。

2 T T 未来遺産運動計画検討委員会

委員会は、地域用水、土地改良区活動、地域活動など 8 つの分野の識者で構成されていました。

委員会は、平成 25 (2013) 年 6 月から平成 27 (2015) 年 2 月までに 6 回開催され、この間、平成 25 (2013) 年には基本計画骨子案を取りまとめ、平成 26 (2014) 年からは運動創設活動 (T T 博物館設置及び T T 未来遺産運動フォーラム開催) への助言を行い、平成 27 (2015) 年には基本計画案を取りまとめるなど幅広く活動しました。

なお、委員会には淡山・東播用水土地改良区合併推進協議会の委員・顧問・参加がオブザーバーとして毎回出席し、委員長の求めに応じて、運動を進めていく当事者又は各地域の住民として意見陳述しました。

委員会事務局は、淡山土地改良区と東播用水土地改良区の職員が配置され、兵庫県神戸県民センター神戸土地改良センター、兵庫県北播磨県民局加古川流域土地改良事務所の助言を受けていました。

たんざんそすい どうばようすい
淡山疏水・東播用水未来遺産運動計画検討委員会委員 (五十音順)

氏名	所属・役職	分野
あおき みのる 青木 稔	神戸市立岩岡小学校校長	児童教育
あべ ゆうきち 安部 優吉 (平成 27 (2015) 年交代) すぎもと しゅういちろう 杉本 修一郎	兵庫県土地改良事業団体連合会副会長	土地改良区運営
おおぶち けんじ 大淵 研二 (平成 27 (2015) 年交代) やました しろう 山下 史朗	兵庫県教育委員会事務局 文化財課副課長兼文化財係長	文化財
たなか れいこ 田中 玲子	加古郡稲美町 環境基本計画推進委員会委員	自然環境 地域活動
なかつか かな 中塚 華奈	NPO 法人 食と農の研究所理事	農家消費者連携
まつもと あやこ 松本 文子	神戸大学農学部助教	地域共生計画
みなみの たけし 南埜 猛	兵庫教育大学大学院教授	地域用水
よねづ よしずみ 米津 良純	兵庫県東播磨県民局地域振興参事参与	いなみ野ため池 ミュージアム



第4回委員会



たんざんそすい
淡山疏水古図を調査する委員
(第1回委員会)

TT未来遺産運動計画検討委員会活動一覧表

年月日	委員会	内容
平成 25 (2013) 年 6月 14日	第1回計画検討委員会	現地調査及びTT未来遺産運動の構想の検討
9月 11日	第2回計画検討委員会	TT未来遺産運動基本計画骨子の検討
平成 26 (2014) 年 1月 17日	第3回計画検討委員会	TT未来遺産運動基本計画骨子の修正 パンフレット (始めよう! 「TT未来遺産運動」) の検討
6月 27日	第4回計画検討委員会	運動創設活動 (TT博物館開設・フォーラム開催) の検討

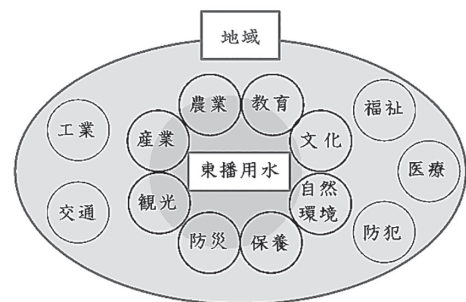
年月日	委員会	内容
平成 27(2015)年 1月23日	第5回計画検討委員会	T T博物館活動の検討
2月4日	第6回計画検討委員会	T T未来遺産運動基本計画の検討

3 T T未来遺産運動基本計画

T T未来遺産運動基本計画（資料 25）は、委員会が取りまとめた案を淡山土地改良区及び東播用水土地改良区の各理事会が承認しました。

基本計画では、運動の理念は「淡山疏水の歴史を引き継ぐ東播用水の多様な機能を永続的に発揮させる」であり、淡山土地改良区組合員の思いに沿ったものです。一方、東播用水の状況は、次のようなものです。

- ・多様な機能を持っており、地域の多くの営みと関係している。（右図）
- ・受益農家の農業離れと非農家の混住など、土地改良区組織の脆弱化や用水管理の煩雑化が危惧される。
- ・淡山疏水の歴史に対する高い評価が引き継がれる。



東播用水と地域の関係

このようなことから、T T未来遺産運動を「地域を巻き込んで淡山疏水と東播用水の多様な機能を活用し、活力ある農業と魅力ある地域を創り上げ、遺産として100年後の世代に継承する活動」と定義し、具体的な運動の方向について、「4つの基本方向」「10の推進方策」「18のめざす姿」を示しています。

T T未来遺産運動の基本方向・推進方策・めざす姿

基本方向	推進方策	めざす姿
1 東播用水システムを存続発展させる	1 農業基盤の保全	1 豊かな用水が確保され、高度な水管理が行われている
		2 優良な受益農地が確保されている
	2 維持管理への住民参加	3 水路の維持管理に住民が参加している
		4 地域と連携した防災減災体制が構築されている
2 農業と地域をステップアップさせる	3 農業の振興	5 安全安心で美味しい農作物を作る水質が保全されている
		6 六次産業化が進んでいる
		7 地産地消が進んでいる
	4 東播用水の多面的機能の発揮	8 多面的機能が発揮され、地域資源として活用されている
	5 地域の歴史・自然・文化などの活用	9 水にまつわる伝統行事などが活用されている
		10 文化的景観が活用されている
	6 交流及び地域活動の拡大	11 多くの人が東播用水地域を訪れる
		12 交流を支える地域活動が活発である

基本方向	推進方策	めざす姿
3 淡山疏水・東播用水の歴史を活用する	7 史料の保存・展示	13 淡山疏水・東播用水の関係文書が保存・展示されている 14 歴史的かんがい施設が現地で保存・展示されている
	8 読み物などの制作	15 教材や資料が充実している
4 人を育てる	9 淡山疏水・東播用水の研究促進	16 東播用水や地域などに関する研究が広がり深まっている
	10 学習機会の拡充	17 小中高の地域学習カリキュラムが作成されている 18 多様な学習活動がなされている



4 先行プロジェクトの実行

(1) 先行プロジェクト

TT未来遺産運動基本計画の骨子を取りまとめ平成26(2014)年5月から平成27(2015)年9月(合併の半年前)まで、淡山^{たんざん}土地改良区と東播^{とうばんようすい}用水土地改良区は未来遺産運動の啓発、活動拠点づくり、担当職員の育成など、本格的運動の展開に備えた先行プロジェクトを共同して実行しました。

先行プロジェクト一覧表

先行プロジェクト	実行年月日	内 容
パンフレット作成	平成26(2014)年 5月	「始めよう！TT未来遺産運動」
運動拠点構築	平成27(2015)年 1月23日	TT博物館開館
啓発イベント実施	4月26日	旭堂南海「淡山疏水物語」& TT未来遺産フォーラム
シンボルマーク制作	4月26日 ～10月19日	シンボルマークデザイン公募・選定(応募作品96点)
イベント試行	8月6日・7日	第1回TT夏休み親子学習会

(2) パンフレット「始めよう！TT未来遺産運動」の作成

平成26(2014)年5月、両土地改良区は組合員を始めとする人々に分かりやすくTT未来遺産運動を説明するため、このパンフレット「始めよう！TT未来遺産運動」(資料24)を作成しました。

パンフレットは各種イベントや市町、JAなどの窓口を通じて機会あるごとに配布しました。

(3) 旭堂南海「淡山疏水物語」 & TT未来遺産フォーラムの開催

平成27(2015)年4月26日、多くの人に淡山疏水と東播用水を紹介し、未来遺産運動への参加を呼びかけるために、両土地改良区は兵庫県や関係市町などの後援を得て未来遺産フォーラムを開催しました。

企画及び運営は委員会での助言を得て同事務局が行いましたが、東播用水土地改良区としては、TT未来遺産運動の本格的な展開に向けた大きな第一歩でした。

開催当日、いなみ文化の森コスモホールメインホールでは多くの参加者を迎え、①オープニングショー、②淡山疏水の歴史を学ぶ講談「淡山疏水物語」、③農業用水への理解を高める基調講演「地域が誇る農業用水の未来」、④パネルディスカッション「みんなで進めるTT未来遺産運動」が滞りなく進みました。また、ロビーや展示室では、淡山疏水と東播用水のかんがい施設の写真、東播用水二期事業で計画されている小水力発電の模型などが入場者の関心を集めました。



神戸新聞 (平成27(2015)年4月27日)

【フォーラムの概要】

- ・開催日時 平成27年(2015)4月26日(日) 午後1時30分から午後4時
- ・開催場所 いなみ文化の森(コスモホール)
- ・参加者数 約450人(入場受付数)
- ・プログラム

オープニングショー「南京玉すだれ」

酒井裕^{さかいひろみち}・喜代美^{きよみ}(東播用水^{とうばんようすい}水源地篠山市から友情出演)

開会挨拶 兵庫県淡河川山田川土地改良区^{おうごがわまたがわ}理事長 大村^{おおむらてつろう}哲郎

講演「淡山^{たんざん}疏水^{そすい}物語」 講師 旭堂^{きよくどう}南海^{なんかい}

基調講演「地域が誇る農業用水の未来」 国立大学法人神戸大学^{うちだ}副学^{かずのり}長 内田 一徳

パネルディスカッション「みんなで進めるTT未来遺産運動」

コーディネーター 国立大学法人兵庫教育大学^{みなみのたけし}大学院教授 南^{みなみ}埜^{たけし} 猛

パネラー NPO法人北はりま田園空間博物館^{あだちみちよし}理事 足立 寶充

(株)吉川ま^いち^おづくり^{としひろ}公社代表取締役 五百尾 俊宏

NPO法人 食と農の研究所^{なかつか}理事 中塚 華奈

閉会挨拶 東播用水^{とうばんようすい}土地改良区^{おむら}理事長 大村^{いさお} 伊三夫

■ 講演「淡山^{たんざん}疏水^{そすい}物語」

『母里村^{もり}難^{そん}恢^{なん}復^{かい}史^{ふし}略^{りやく} (北^{ほう}條^{じょう}直^{ちく}正^{せい}編^{へん})』を基にした旭堂^{きよくどう}南海^{なんかい}師匠のオリジナル作品であり、地租改正による高額な税に苦しみながら淡河川^{おうごがわ}疏水^{そすい}の建設を成し遂げた明治の人たちの苦勞を伝え、疏水やため池の多様な価値を分かりやすく説いた講演でした。

■ 基調講演「地域が誇る農業用水の未来」

内田^{うちだ}一徳^{かずのり}氏自ら撮影し作成されたスライドにより、淡山^{たんざん}疏水^{そすい}の技術的価値と歴史的価値が紹介されました。また、TT未来遺産運動を例に挙げ、農業用水の多面的な役割の活用と地域ぐるみの維持管理のあり方が提案されました。

■ パネルディスカッション「みんなで進めるTT未来遺産運動」

南^{みなみ}埜^{たけし} 猛氏の取りまとめのもとに、それぞれの分野で経験豊かな3人のパネリストがTT未来遺産運動の進め方に関して意見交換されました。ボランティア・スタッフの活用、まちづくりとの連携、都市住民との交流などが話題となり、会場席から参加者も意見発表されました。

きょくどうなんかい たんざんそすい
旭堂南海「淡山疏水物語」 & TT未来遺産フォーラムのポスター

兵庫県 淡山疏水
100年
TT未来遺産運動

淡山疏水
未来を語ろう！
東播用水

旭堂南海「淡山疏水物語」 & TT未来遺産フォーラム

平成27年 **4月26日** 日 13:30~16:00 (開場13:00)
いなみ文化の森 (コスモホール) 〒675-1114 加古郡稲美町国安1286-1

定員500名
入場無料

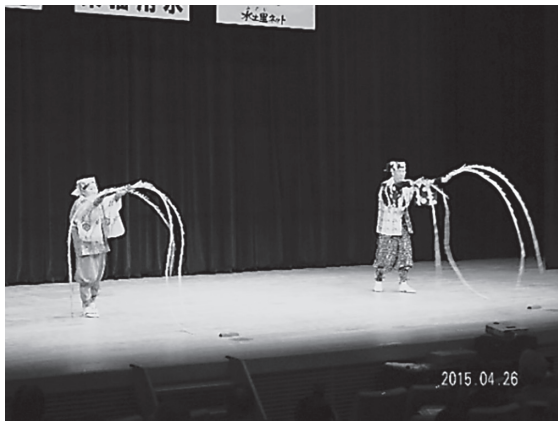
- 南京たますだれ 演者 酒井 裕迪・喜代美(篠山市)
- 講 談「淡山疏水物語」 講師 旭堂 南海
- 基調講演「地域が誇る農業用水の未来」
神戸大学副学長 内田 一徳
- パネルディスカッション「みんなで進める TT 未来遺産運動」
コーディネーター 兵庫教育大学教授 南埜 猛
- 展示コーナー
 - TT 未来遺産運動と博物館の紹介
 - 東播用水二期土地改良事業の紹介
 - 連携団体の紹介
 - ロゴマークデザイン募集



主 催 兵庫県淡河川山田川土地改良区、東播用水土地改良区
後 援 兵庫県 (神戸県民センター・東播磨県民局・北播磨県民局)
神戸市・明石市・加古川市・三木市・稲美町 (国営東播用水二期土地改良事業促進協議会)
兵庫県土地改良事業団体連合会、JA 兵庫南、JA 兵庫六甲、JA みのり、JA 兵庫みらい
三木市観光協会、神戸みのりの公社、吉川まちづくり公社
いなみ野ため池ミュージアム運営協議会、丹波篠山木の駅実行委員会



開会挨拶 たんざん 淡山土地改良区理事長 おおむらてつろう 大村哲郎



南京玉すだれ さかいひろみち 酒井裕迪氏・ きよみ 喜代美氏御夫妻



講談「淡山疎水物語」 たんざんそすい 旭堂南海師匠 きょくどうなんかい



基調講演「地域が誇る農業用水の未来」
うちだかずのり
 国立大学法人神戸大学副学長 内田一徳氏



パネルディスカッション
「みんなで進めるTT未来遺産運動」
国立大学法人兵庫教育大学大学院教授 南塾 猛 氏



NPO 法人北はりま田園空間博物館理事
足立 寛 氏



(株)吉川まちづくり公社代表取締役
五百尾 俊宏 氏



NPO 法人 食と農の研究所理事
中塚 華奈 氏



閉会挨拶 東播用水土地改良区理事長 大村伊三夫 氏

(4) シンボルマークの制作

TT未来遺産運動のシンボルマークを作成するため、両土地改良区は平成27(2015)年4月26日から同年8月31日まで、東播用水土地改良区とうばんようすいのホームページなどを通じてデザインを公募し、近隣在住や他府県在住の人々、中にはデザイナーと思われる人、小中高生など95人の作品が集まりました。

淡山たんざん・東播用水土地改良区合併推進協議会とうばんようすいにおいて選考し、地元三木市在住の今枝祥子いまだしょうこ氏作の図案を採用し、同年10月19日に他の優秀作と共に表彰しました。

シンボルマークは、採用図案に運動名を明確にするロゴタイプ「TT未来遺産運動」を付け、印刷物や看板などに表示しています。

TT未来遺産運動シンボルマーク (ロゴタイプ付き)



デザイン説明 (作者 いまだしょうこ 今枝祥子氏)

水が巡るイメージを楕円形で表現し、その中で未来に向けて育つ稲穂を描きました。

100年先の未来に向けて東播用水と地域と農業が、これからも共に発展していきますようにと、願いを込めて作成いたしました。

(5) 第1回 TT 夏休み親子学習会の開催

TT 未来遺産運動を担う子供たちを育てる学習活動の試行として、両土地改良区は平成 27 (2015) 年 8 月 6 日から 7 日にかけて、第 1 回 TT 夏休み親子学習会を開催しました。

学習会の内容は淡山疏水と東播用水、受益地域、農業などについて幅広く学ぶもので、当日のプログラムは次表のとおりです。講師陣は兵庫教育大学南埜猛教授を始めとして、近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所、兵庫県加古川流域土地改良事務所、兵庫楽農生活センターの職員の方々でした。参加者は、稲美町、神戸市、加古川市、遠くは尼崎市から集まった小学 1 年生から 6 年生までの児童 9 人とその保護者 6 人の計 15 人でした。小学生には少し難しい内容でしたが、全員が熱心に学習し、楽しく過ごした 2 日間でした。

学習会プログラム

(1) 8月6日 (木)

時限	学習課題	内 容	時間	場 所
1	いなみ野台地を調べよう	「いなみ野台地」の自然や歴史	40分	加古大池 管理棟 (稲美町加古)
2	淡山疏水の歴史を調べよう	先人が苦勞してつくり、守ってきた淡山疏水の歴史	40分	
3	東播用水の役割を考えよう	私たちの生活を支える東播用水の色々な役割	30分	
4	「ため池」のことを調べよう	「ため池」の築造と役割	30分	
5	TT 博物館で学ぼう	淡山疏水、東播用水に関する資料	50分	TT 博物館 (稲美町野寺)
6	農業を楽しもう	トウモロコシを収穫、試食	30分	TT 博物館近傍 (稲美町野寺)

(2) 8月7日 (金)

時限	学習課題	内 容	時間	場 所
1	練部屋分水所を見てみよう 水路のごみ取り機を動かそう	見学・除塵機操作	30分	神戸市 神出町紫合
2	兵庫楽農生活センターを見よう	見学	30分	神戸市 神出町小東野
3	TT 地域の農業を調べよう	地域の色々な農業 (講話)	30分	
4	御坂サイフォンを見てみよう	見学・流速の計測	40分	三木市 志染町御坂
5	吞吐ダムの本体に入ってみよう	見学 (監査廊探索)	80分	三木市 志染町三津田



1日目「いなみ野台地を調べよう」



1日目「農業を楽しもう」



2日目「練部屋分水所^{ねりべやぶんすいじょ}を見てみよう」



2日目「TT地域の農業を調べよう」



2日目昼食「楽農レストラン^{らくのう}かんでかんで」



2日目「^{どんど}呑吐ダムの本体^{だん}に入ってみよう」